

Double-Take/Carbonite ログ採取方法

ログ採取についてのお願い

ソフトウェアの性質上、Source サーバと Target サーバの両方のログの照合により、事象発生を確認いたします。

エラーが発生しているサーバのログだけでなく全てのサーバのログを提供ください。

1:N 構成、N:1 構成、1:1:1 構成でも全てのサーバのログを提供ください。

- 1) Windows エクスプローラから **DTInfo.exe** をダブルクリックしてください。
ログ採取はサーバへの負荷が予想されます。**負荷が増えても問題ない時間帯で実行**して下さい。DTInfo.exe は Double-Take/Carbonite のインストールフォルダにあります。

バージョン	デフォルトのパス
Ver5.1	C:\Program Files\DoubleTake\DTInfo.exe
Ver5.2	C:\Program Files\Double-Take Software\Double-Take\DTInfo.exe
Ver5.3~8.0	C:\Program Files\Vision Solutions\Double-Take\DTInfo.exe
Ver8.1 以降	C:\Program Files\Carbonite\Replication\DTInfo.exe

※ ログの保存場所を変更している場合

DTInfo.exe で採取できないログファイルが一部発生いたします。

詳細は P.2 「● ログの保存場所を変更している場合」をご参照ください。

- 2) ログ収集を開始します。(約 5~10 数分程)
Ver6.0 以前 "Start" ボタンを選択します。
完了すると "Cancel" ボタンの表示が "Done" に変わります。
Ver7.0 以降 コマンドプロンプトが起動します。そのままお待ちください。
完了すると コマンドプロンプトが閉じます。

- 3) 下記パスにコンピュータ名を**ファイル名とする ZIP ファイルが生成**されます。

バージョン	デフォルトのパス
Ver5.1	C:\Program Files\DoubleTake\support\コンピュータ名.ZIP
Ver5.2	C:\Program Files\Double-Take Software\Double-Take\support\コンピュータ名.ZIP
Ver5.3~8.0	C:\Program Files\Vision Solutions\Double-Take\support\コンピュータ名.ZIP
Ver8.1 以降	C:\Program Files\Carbonite\Replication\support\コンピュータ名.ZIP

※参考

- (1) DTInfo.exe を実行する際には**ネットワークに接続されている必要はありません。**
- (2) DTInfo.exe によるログ採取には Windows のイベントログ(application/system)が含まれます。**DTInfo.exe が成功した場合は、別途イベントログを取得いただく必要はありません。**

● **DTInfo.exe が実行エラーとなる場合**

サーバ上のインストールフォルダに存在する Support フォルダ及び Support.old フォルダを削除し、DTInfo.exe を再実行してください。

上記でも DTInfo.exe が実行エラーとなる場合には、次のファイルを個別に取得してください。

○Windows のアプリケーション・イベントログ ※evt/evtx 形式

○Windows のシステム・イベントログ ※evt/evtx 形式

○msinfo32 の実行結果

○Double-Take/Carbonite 動作ログ

ファイル名： dtlog 数字.dtl

※ファイル名に含まれる「数字」は 1 ~ 999 の連番です。

※ログファイルは Double-Take をインストールしたフォルダに保存されています。

<デフォルトのインストールフォルダ>

Ver5.1 C:¥Program Files¥DoubleTake

Ver5.2 C:¥Program Files¥Double-Take Software¥Double-Take

Ver5.3~8.0 C:¥Program Files¥Vision Solutions¥Double-Take

Ver8.1 以降 C:¥Program Files¥Carbonite¥Replication

※ログの保存場所を変更されている場合には、変更後のフォルダ内に保存されています。

● **ログの保存場所を変更している場合**

ログフォルダをデフォルト値から変更した場合は DTInfo.exe ログファイルが含まれません。
変更後のログフォルダ以下をコピーし、そのフォルダを圧縮したファイルを DTInfo.exe の結果と一緒に提供ください。

ログファイルの場所を確認する方法

<Ver5.1~5.3>

「Management Console」で対象サーバのアイコンをダブルクリックしてログオン

→ 対象サーバのアイコンを右クリック → **Properties**

→ **[Logging]タブの Folder 項目**にてご確認下さい。

<Ver6.0~8.0>

「Double-Take Console」で「Manage Servers」画面または「Servers」画面から

対象サーバのアイコンを選択し、右クリック「View server details」をクリック

→ 画面右の「Edit server properties」をクリックし **Logging 項目**にてご確認下さい。

<Ver8.1 以降>

「Carbonite Replication Console」で「Servers」画面から

対象サーバのアイコンを選択し、右クリック「Edit server properties」をクリックし、

Logging 項目にてご確認下さい。

※参考 **ログ圧縮ファイルの容量が大きい場合**

DTInfo.exe の実行結果により作成されたログ圧縮ファイルの容量が大きい場合はログを解凍し、以下の古いファイルが存在していないか確認ください。

古いファイルが存在する場合には、該当ファイルを削除した後に再度圧縮してください。

- ・古い日付のダンプファイルが含まれていませんか？

「サーバ名_DoubleTake_XXXX_XXXX_YYYY_MM_DD_HH_MM_SS_XXX.dmp」

※YYYY_MM_DD はダンプファイルが作成された日付です。

- ・Double-Take/Carbonite のログファイルが**数多く含まれている場合**においてファイルの更新日時が 1 年以上前のファイルも含まれていませんか？

「サーバ名_dtlogXXX.dtl」

※Double-Take のログはデフォルトでは、Ver5.1～5.3 では最大 5 個です。

Ver6.0 以降では最大 20 個作成され古いファイルは上書きされます。

ファイルの保存数を変更している場合には最大 999～65335 個まで保存されます。